

# 「子どもたち一人ひとりに追い風を送るための 『これから求められる学校教育』とは



長澤 勇哉

## 二、教育は人なり

一つ目は、「教育は人なり」の言葉にもあるように、教師の人間力、指導力を高めるこ

とです。

私は十二年間、公立小学校で教師をしてきましたが、昨年度退職をしました。退職した理由は、本財団学校教育センターに勤務し、教育現場の現状から、課題とその解決策を探り、よりよい教育の実現のために一つ一つできることをやつていきたいと考えたからです。

教師の使命は、子どもたち一人ひとりの追い風になることだと感じています。それは、主に二つの変革が必要であると考えます。

私は、教員時代に子どもたちにとつての追い風になり切れなかつた自身の力不足を悔やんでいます。「勉強が分からぬで苦しんでいた子」「友達関係で困っていた子」など

の気持ちを理解して、丁寧に、誠実に関わることができてい

なかつた部分がありました。あの時にもつと親身に子どもたちに関わることができたら、きっと子どもたちにとつて、もつと学校は楽しく充実することをやつていきたいと

思いました。だからこそ、大久保俊輝先生のさまざまな活動に随行しながら人間力、指導力の向上に努めています。

大久保俊輝先生は、県内各地の教育長訪問や校長訪問、保護者や地域の方、経営者の方への講話、千葉県総合教育センターの研修講師や県内各地の学校での出前授業等、幅広く活動されています。それらに随行する中で、さまざまの人との出会いがあり、数多くの学びがあります。教育をよりよくしていこうとする思いをもつた方々と出会い、お話をさせていただく中で見えてくる課題を具体的な行動につなげていきたいです。

また、本財団では今年度の

十月から「大久保塾」として、教師の人間力・指導力の向上を目的としたチームを立ち上げて活動しています。私も塾生の一員として、子どもたちは

どんどん自分の個性や能力を伸ばしていくことができます。私は、本誌の編集長である大久保俊輝先生のさまざまな活動に随行しながら人間力、指導力の向上に努めています。

一人ひとりに追い風を送ることができる教員になるべく研修に取り組んでいます。

モラロジー道徳教育財団 学校教育センター  
元十九里町立豊海小学校 教諭

長澤 勇哉

## 【大久保塾について】

○塾長 大久保俊輝先生  
(本財団 特任教授)

・塾生が自身の人間力、教師力の研鑽に励むとともに、新しい時代の学校教育のビジョンをもち、その実践者になる。これから時代に求められる教育の変革を推進するための人財を育成する。

○入塾(募集・選考)  
・年齢、性別、職業、居住地、国籍不問  
・QRコードからの申し込み後、個別に選考する。

※今後の教育の変革について本気で考えている方、ぜひ一緒に勉強しましょう!



### 三、教育実践の質の転換

二つ目が、教育実践の充実です。

読者の皆様は、これからの時代に応じた教育実践としてどのようなことが必要であるとお考えでしょうか？

今日、学校卒業後の実社会では、答えのない課題に直面することが多くあります。そ

のことから、学校教育の質的転換が叫ばれ、課題解決型の能動的学習（アクティブラーニング）が重要視されていました。さらに電子黒板やタブレット等のICT機器を活用することで、教育効果の向上を図る努力が求められています。しかし、手法が変わっても、教師自身の指導の在り方の比重がティーチング（教え育てる）に偏っているまでの限リ、学校教育の質的転換の実現にはつながないと考えます。

これから時代をたくましく生き抜く子どもたちを育てるためには、答えのない問題に対する課題解決能力や主体性・協働性の育成が必要不可欠です。そのためには、教師自身がティーチングの部分と、

コーチング（自発的行動を促進し、自ら学び、育つ）の部分をしつかりと使い分けながら、今の時代に合った指導力を身に付けなければなりません。

ここで、私がこれまでにコーチングを意識しながら実践してきた実践内容をご紹介させていただきます。

### 『子どもが主体となつて進める反転授業』（算数科）

- 予習（自学）で基礎知識をつけてから授業を行う。「広げ深める」の時間を増やすことで、統合的・発展的に考え、問題を協働的に解決することにつなげる。
- 教師はファシリテーター（一人一人の学びがスムーズに進むように支援）

#### 【従来の授業】

- 授業で基礎知識をつけて宿題で理解を深める。
- 教師主導による講義

「子どもが主体となつて進める反転授業」は、道徳科や国語科等様々な教科で行いま

#### 反転授業の展開（算数科）



学び合いを充実させるために「広げ深める」の時間を長く確保

その結果、一人ひとりが自學で学んできたことをもとにわせて教育の質的転換を行っていくことだと考えます。上記の実践をまとめてありますので、QRコードを読み取って、実践内容に目を通していただけます。QRコードを読み取ると、実践内容に目を通すことができます。子どもたちはこの指導法に少しずつ適応し、楽しみながら自学や授業に取り組むようになりました。手法は、学校や児童の実態によつて様々であると思いま

すが、大切なのは、時代に合わせて教育の質的転換を図つていくことだと考えます。上記の実践をまとめてありますので、QRコードを読み取って、実践内容に目を通してあります。上記の実践をまとめてありますので、QRコードを読み取って、実践内容に目を通すことができます。幸いです。

### 四、麗澤の地から新しい学校像を発信

廣池幹堂理事長（本財団学校法人廣池学園）は、「世界に類を見ない小学校を創る」と声高らかに宣言されました。本財団がある東京ドーム九個分の敷地内に、ついに待望の小学校設置案が浮上しました。廣池学園の豊かな自然と充実した学び舎の中で、これらの時代に求められる学校教育の実現を目指します。幼稚教育から大学教育まで一貫して「人間力育成」に主眼を置いた教育実践を行い、子どもたち一人ひとりに追い風を取り組みましょう！

